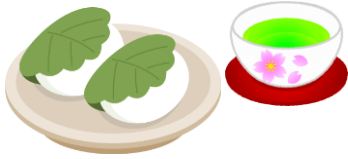


# 普及センター

## 5月

## むりあか



第211号 令和6年4月17日発行  
盛岡農業改良普及センター  
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎4階  
TEL 019-629-6726 FAX 019-629-6739

## 新年度のごあいさつ ～エールを送る～

盛岡農業改良普及センター所長 加藤 満康

春は曙少しあかりて、鳥の囀りが聞こえてきます。皆様には昨年来、日々農作業に勤しみながら地域の務めを果たす姿に接し、敬意の念を新たにしています。改めて日頃より、普及活動に御協力を賜っておりますこと厚く感謝申し上げます。

激しく変化する時代のさなか、どんな言葉で皆様にエールを送ればいいのかと自問自答しています。今のところ先人が歩んだ道に鑑み、「目標を見失わない、それぞれの人が為すべきを為す、力を合わせる、時の変化が相まって道が開ける」という旨の話をしています。

ところで宮沢賢治は、農業の営みそのものに通じる尊さを言葉に残しており、読み返すと励まされます。

「きれいなすきとほった風をたべ、桃色のうつくしい朝の日光をのむことができます。・・はたけや森の中でひどいぼろぼろのきものが・・びろうどや羅紗や宝石いりのきものにかはっているのをたびたびみました。」（「注文の多い料理店」序）

「暗い思想を太陽の下でみんな汗といっしょに昇華させたそのあとのあんな楽しさはわたくしもまた知っています。・・風や光のなかに自分を忘れ・・銀河系全体をひとりのじぶんだと感ずるときはたのしいことではありませんか。」（「弟清六への手紙」）

「おれたちはみな農民である。ずいぶん忙しく仕事もつらい。もっと明るく生き生きと生活する道を見付けたい。・・世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない。・・われらは世界のまことの幸福を索ねよう。求道すでに道である。」（「農民芸術概論綱要」序論）

農作業のふとした時に皆様も、同じ気持ちが湧くものと存じます。偉人の言葉から、エールの思いを受け止めていただければ幸いです。

さて当センターは、今春の人事異動による転入4名を含む22名体制で、気持ちも新たに始動しています。赴任してきた職員には早く地域と人に慣れて、新しい風となって活躍することを願っています。また私たちは引き続き、「地域とともに、信頼関係をもとに、役に立つ普及センター」でありたいとの気持ちをもって、普及活動に全力を尽くす所存です。本年度も職員一同よろしくお願ひします。

# 盛岡農業改良普及センター 普及指導計画の紹介

普及センターでは、4年ごとに見直した普及活動計画をもとに業務を行っています。今年度は普及活動指導計画改定後2年目であり、令和8年度まで下記の内容を中心に活動してまいります。

## 【重点推進事項】

- I 次世代の地域農業を担う経営体の育成
  - 1 地域の担い手となる経営体の育成
  - 2 次世代の担い手の確保・育成
  - 3 活躍する女性農業者の育成
- II 生産性・市場性の高い安全・安心な産地づくり
  - 1 実需等のニーズに対応した作物の産地形成
  - 2 野菜産地を担う経営体の育成と産地の持続的発展
  - 3 実需ニーズに応える花き産地の形成
  - 4 持続的な果樹産地の形成
  - 5 安定的な畜産経営体の育成
  - 6 環境に配慮した農業生産の推進
- III 魅力ある農村づくりの推進
  - 1 農村ビジネスの振興
  - 2 食文化伝承活動の推進

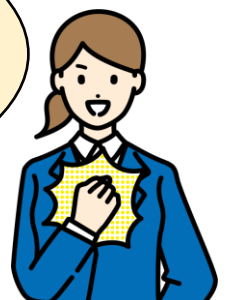


## 春の農作業安全月間です！

春の農繁期を迎えます。農作業事故を防ぎ安全な作業をお願いします。

期間：令和6年4月15日(月)～6月15日(土)

令和6年度農作業安全スローガン  
「ひと休み 急がば回れ 農作業  
ゆとり忘れず 安全管理」



# 盛岡農業改良普及センター組織体制

## ～令和6年度の紹介～

大規模化や担い手確保、技術の高度化などの課題解決に向けて、活動対象者を明確化し、経営体の所得向上や産地づくり、担い手育成などを進めるために、3課体制のもと支援を行います。

かとう みちやす  
所長 加藤 満康

経営指導課 電話：629-6733

○大規模経営の経営改善や所得向上に向けた支援を行います。

経営指導課長 まえやま かおる  
前山 薫

集落営農：佐々木 利枝 個別経営・法人：柿崎 理央

畜産経営・畜産振興：佐々木 正俊、舘 結香

施設園芸経営・環境制御：島田 真璃奈、山崎 穂



産地育成課 電話：629-6730, 6732

○生産性・市場性の高い産地づくりを目指します。

技術主幹兼産地育成課長 くどう めぐみ  
工藤 恵

作物振興：臼井 智彦、村岡 希

野菜振興：佐藤 聡太

果樹振興：大野 浩、田口 礼人

花き振興：鈴木 翔



地域指導課 電話：629-6727, 6726

○新規就農者の確保・育成や農村活性化に向けた支援を行います。

地域指導課長 ながさき ゆうこ  
長崎 優子

認定農業者・女性組織：佐藤 嘉彦

新規就農・農業農村指導士・食の匠：櫻田 弘光

新規就農・青年組織活動：川嶋 美紀

産直・農村起業：今井 裕之

おだしま めり  
小田島 芽里（育休中）



# 転入者の紹介

## 技術主幹兼産地育成課長

くとう めぐみ  
**工藤 恵**



○前任地：二戸農林振興センター

二戸農林振興センターから異動してまいりました、産地育成課長の工藤 恵です。盛岡農業改良普及センターの勤務は2回目で、以前は経営安定対策の開始に向けた集落営農組織の設立支援を担当しておりました。今回は、農産・園芸の各品目の生産振興の担当となります。盛岡地域の農業振興のお役に立てるよう、微力ながらも努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 経営指導課長

まえやま かおる  
**前山 薫**



○前任地：岩手県農業研究センター  
農業経営研究室

盛岡農業改良普及センターは新人の時以来、25年ぶりの勤務となります。前任地の農業研究センターでは、農業経営に関する研究に長く従事しておりました。普及センターでは、経営体育成全般、畜産・園芸経営体の支援を担当します。管内の農業者の皆様への経営改善にお役に立てればと思っております。よろしくお願いいたします。

## 主任農業普及員

さとう そうた  
**佐藤 聡太**

(担当:野菜)



○前任地：岩手県農業研究センター  
南部園芸研究室

盛岡農業改良普及センターは初めての勤務となります。前勤務地では「いちご」の研究をしていました。これからは「野菜」を担当します。皆様と一しょに様々な課題を解決し、活気あふれる産地づくりに取り組んでいきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

## 農業普及員

かきざき みちお  
**柿崎 理央**

(担当:個別経営・法人)



○前任地：中部農業改良  
普及センター

中部農業改良普及センターから異動となりました。主に個別経営体の農業経営改善支援(法人化等)に関する業務を担当します。盛岡農業改良普及センターは初めての勤務となります。積極的に現場に足を運び、農業者の皆様と一緒に経営改善に向けた活動をしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



# よろしくお願いいたします!



## 編集後記

農家の皆様、農業関係者の皆様、はじめまして。本年度「普及センターもりおか」の担当になりました今井と申します。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

4月の半ば桜が満開となり、暖かさを超して暑ささえ感じる日もあります。皆様におかれましては、種まきや定植等始まっていることと思います。畑の水不足などに気を付けて華麗なスタートを決めて頂きたいです。

さて、皆様は今年1年をどのような年にしたいと考えておりますか?やはり、沢山採れる年でしょうか?私は、久しく口にしていない松茸を食べる年にしたいです。お店に並ぶのは10月くらいでしょうか?その頃には、皆様はコンテナいっぱいの農産物を手に、私は1本の松茸が入ったパックを手に、笑顔になっていることを切に願っています。